

## 平成 26 年度有害大気汚染物質等の詳細調査結果について

県では、大気汚染防止法に基づき有害大気汚染物質の環境調査を実施しており、その結果、玉野市内において「ヒ素及びその化合物」の濃度が継続的に高いことから、平成 26 年度においても詳細調査を実施し、その調査結果を取りまとめた。

### 1 詳細調査結果 (ng/m<sup>3</sup>) : 年 4 回 (1 回当たり 1 週間連続測定) の平均値

	宇野港管理 事務所	和田市民 センター	向日比 2 丁目 大気測定局	渋川大気 測定局	(参考) 指針値 <sup>(*)</sup>
クロム及びその化合物	3.5	5.3	4.9	4.6	未設定
マンガン及びその化合物	65	110	87	58	140
ニッケル化合物	6.2	6.5	8.8	13	25
銅及びその化合物	34	68	320	110	未設定
亜鉛及びその化合物	100	130	120	120	未設定
ヒ素及びその化合物	7.7	14	30	20	6
カドミウム及びその化合物	1.4	3.2	4.7	3.3	未設定
鉛及びその化合物	30	36	44	38	未設定

\*環境目標値の一つとして、環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値で、事業者による排出抑制努力の指標としての機能を果たすもの。(年 12 回の平均値で評価)

### 2 今後の対応

発生源と考えられる事業者が、平成 25 年度から実施している排出抑制対策の効果を検証し、必要に応じ排出抑制対策の強化等を指導する。

## 有害大気汚染物質等の詳細調査地点図（平成 26 年度）

